

# 第36回全国スポーツ祭典

## 第62回全国卓球選手権大会年代別の部 大会要項

(別添第62回全国卓球選手権大会規定必読)

- 1.主催 一般社団法人 新日本スポーツ連盟全国卓球協議会  
2.主管 新日本スポーツ連盟愛知卓球協会  
3.後援 (予定) 愛知県・豊田市  
4.大会期日 2026年12月18日(金)・19日(土)・20日(日) 3日間開催  
5.開催会場 愛知県豊田市 スカイホール豊田(豊田市総合体育館)  
〒471-0861 愛知県豊田市八幡町1-20  
6.競技日程 別紙参照(3日間開催のため、日程表をよく読んでください)  
\*12月18日8時30分開館・受付 \*9時15分開会式 \*9時40分競技開始  
7.実施種目 **【団体戦】**

男子・女子 年代別団体戦

(1複2単:1チーム 3~5名編成とし、試合は3~4名で行う)

- |   |         |                       |
|---|---------|-----------------------|
| ① | 30才以上の部 | (全員30才以上のメンバーで構成すること) |
| ② | 40才以上の部 | (全員40才以上のメンバーで構成すること) |
| ③ | 50才以上の部 | (全員50才以上のメンバーで構成すること) |
| ④ | 60才以上の部 | (全員60才以上のメンバーで構成すること) |
| ⑤ | 70才以上の部 | (全員70才以上のメンバーで構成すること) |
| ⑥ | 80才以上の部 | (全員80才以上のメンバーで構成すること) |

### 【個人戦】

- |   |       |     |          |                      |
|---|-------|-----|----------|----------------------|
| ① | 男子・女子 | 30L | :30才~34才 | (1992年4/2~1997年4/1生) |
| ② | 男子・女子 | 30H | :35才~39才 | (1987年4/2~1992年4/1生) |
| ③ | 男子・女子 | 40L | :40才~44才 | (1982年4/2~1987年4/1生) |
| ④ | 男子・女子 | 40H | :45才~49才 | (1977年4/2~1982年4/1生) |
| ⑤ | 男子・女子 | 50L | :50才~54才 | (1972年4/2~1977年4/1生) |
| ⑥ | 男子・女子 | 50H | :55才~59才 | (1967年4/2~1972年4/1生) |
| ⑦ | 男子・女子 | 60L | :60才~64才 | (1962年4/2~1967年4/1生) |
| ⑧ | 男子・女子 | 60H | :65才~69才 | (1957年4/2~1962年4/1生) |
| ⑨ | 男子・女子 | 70L | :70才~74才 | (1952年4/2~1957年4/1生) |
| ⑩ | 男子・女子 | 70H | :75才~79才 | (1947年4/2~1952年4/1生) |
| ⑪ | 男子・女子 | 80L | :80才~84才 | (1942年4/2~1947年4/1生) |
| ⑫ | 男子・女子 | O85 | :85才以上   | (1942年4/1以前生)        |

\*年齢は団体戦、個人戦とも2027年4月1日の満年齢とする。

\*個人戦に参加する場合、該当する年齢クラス以外のクラスに出場はできない。

\*個人戦85才以上のクラスは、4人以下の場合は80Lクラスと併合して行う。

- 8.競技規則
- 1) 現行の日本卓球ルールに準ずる。タイムアウト制は採用しない。
  - 2) リーグの順位は全国卓球協議会方式で決定する。
- 9.競技方法
- 1) 団体戦競技はダブルス11ポイント3ゲームズマッチ、2ゲームズ先取制で行う。シングルスは5ゲームズマッチ、3ゲームズ先取制で行う。個人戦は5ゲームズマッチ、3ゲームズ先取制で行う。
  - 2) 両者の得点が10-10に達した後は1本ずつサービスを行い2点差をつけるか、先に13ポイントを得たチームおよび選手がそのゲームの勝者となる。
  - 3) 年代別団体戦は1ダブルス2シングルの3マッチとし、2マッチ先取を勝ちとする。1番ダブルス、2番シングルス、3番シングルス1番のダブルスに出場した選手は2番のシングルスには出場することができない。同じ選手がシングルスに2度出場することはできない。
  - 4) 団体戦、個人戦とも、予選リーグ1位による決勝トーナメントを行う。
  - 5) 団体戦については相互審判とする。個人戦については予選リーグ内は選手間の相互審判、決勝トーナメントの第一試合はタイムテーブルで塗りつぶしがしてある勝ち上がりの選手が審判、それ以後は敗者審判とする。

- 6) 受付は試合開始30分以上前に済ませ会場で待機すること。
- 10.出場資格
- 1) 新日本スポーツ連盟全国卓球協議会および都道府県卓球協議会が推薦するチームおよび選手。
  - 2) 2025年度第61回全国卓球選手権大会・年代別の部(長野県松本市 エア・ウォーターアリーナ松本)において団体戦ベスト4までのチーム・個人戦ベスト4までの選手を本大会に推薦する。
  - 3) 団体戦については相互審判とすること、個人戦について予選リーグ内は選手間の相互審判、決勝トーナメントの第一試合はタイムテーブルで塗りつぶしがしてある勝ち上がりの選手が審判、それ以後は敗者審判とすることを了承したチームおよび選手。
- 11.試合球 VICTAS VP40+ 3スター
- 12.表彰
- 1) 団体戦は各年代3位までとする(3位決定戦は行わない)
  - 2) 個人戦は各年代3位までとする(3位決定戦は行わない)
  - 3) 団体戦・個人戦とも8チーム、8選手以下の表彰は準優勝までとする。
- 13.参加費
- 1) 団体戦1チーム 加盟 12,000円・非加盟及び加盟非加盟混成 18,000円
  - 2) 個人戦1人 加盟 4,000円・非加盟 6,000円
- \*参加費には、スポーツ傷害保険料を含む。
- 14.申込方法
- 1) 申し込み用紙に必要事項を正確に記入する。  
特に過去の戦績の「その他の全国大会」は組合せの際重要となるため、実績のあるチームおよび選手は必ず記入する。  
※年代が混在する団体は年齢の一番低いメンバーの年代に出場することができる。ただし、大会試合時にそのメンバーが不在の場合オープン参加もしくは棄権となる。
  - 2) 送金は、下記へ郵便振替

### 申込書・参加費の送付先

宛 先 〒-

添付資料 申込書  
振込先 口座番号  
口座名義

(通信欄に都道府県名、チーム名、大会名、を忘れずに記入のこと)  
締切日申込書提出:

- 15.問合せ先 一般社団法人新日本スポーツ連盟全国卓球協議会  
TEL :03-5834-8734 FAX :03-5834-8723  
E-mail : zenkoku@stta.jp  
ホームページ : <http://www.stta.jp>
- 16.組合せ 過去の大会実績をふまえ、主催側で決定する。
- 17.諸注意
- 1) メンバーの変更は、締切日以降、特別な事情がない限り認めない。
  - 2) ゼッケンは、縦18cm・横25cm程度の大ききで、氏名、エントリーと同一のチーム名を記入し、各自で用意する。なお、団体戦と個人戦に出場し、エントリークラブ名が異なる場合は、それぞれのゼッケンを用意する。ゼッケンは、大会本部で販売するが試合に入る前に準備すること。
  - 3) 団体戦のユニフォームはできる限り揃える。  
対戦同士が同じユニフォームになっても着替える必要はない。
  - 4) 締切日以降のキャンセルの場合、参加費は返却しない。
  - 5) 主催者都合以外の大会中止の場合、参加費は返却しない。
  - 6) 組合せ、大会記録は全国卓球協議会のホームページに掲載する。
  - 7) 決勝トーナメントで棄権することのないよう時間に余裕を持った計画を立てること。
  - 8) 「第62回全国卓球選手権大会規定」をよく読んでおくこと。
  - 9) 不明点は加盟登録協議会または全国卓球協議会に問い合わせること。

**第62回全国卓球選手権大会 年代別の部 (スカイホール豊田)**  
**競 技 日 程**

1日目 2026年12月18日 (金)	
男子団体戦	60才以上の部
	70才以上の部
	80才以上の部
女子団体戦	40才以上の部
	50才以上の部
	60才以上の部
	70才以上の部
	80才以上の部

2日目 2026年12月19日 (土)	
男子団体戦	30才以上の部
	40才以上の部
	50才以上の部
女子団体戦	30才以上の部
男子個人戦	70L
	70H
女子個人戦	40L
	40H
	50L
	50H

3日目 2026年12月20日 (日)	
男子個人戦	30L
	30H
	40L
	40H
	50L
	50H
	60L
	60H
	80L
	O85
女子個人戦	30L
	30H
	60L
	60H
	70L
	70H
	80L
	O85

# 第36回全国スポーツ祭典第62回全国卓球選手権大会年代別の部

スカイホール豊田 2026年12月18日(金)・19日(土)・20日(日)

## 年代別団体戦申込書 30・40・50・60・70・80

男子

女子

○で囲む

才以上の部

都道府県名	フリガナ	フリガナ	
	チーム名	監督名	
フリガナ			連絡先
代表者名			電話番号
			携帯
代表者住所	〒		

参加費加盟12,000円、非加盟18,000円

### 団体戦登録メンバー

(1ダブルス 2シングルス・1チーム3～5名)特別の事情がない限り締切以後の変更、追加はできない。  
カットマンは氏名の前に○をつける。年齢は2027年4月1日の満年齢とする。生年月日は西暦で記入のこと。)

団体戦メンバーの情報

個人戦の戦績

①	フリガナ	加・非	年齢	才	在住学勤県	個人戦出場	年開催	大会	位
	氏名								
	フリガナ								
	氏名		年 月 日生			出否			
	フリガナ								
	氏名		年 月 日生			出否			
	フリガナ								
	氏名		年 月 日生			出否			
	フリガナ								
	氏名		年 月 日生			出否			
	フリガナ								
	氏名		年 月 日生			出否			

### 団体の過去の戦績

都道府県予選の実績		予選大会	位
3年以内のスポーツ連盟の全国大会実績		年開催	大会 位
その他の全国レベルの大会の実績 全日本、マスターズ、社会人等		年開催	大会 位
その他の実績		年開催	大会 位

注意①チーム名、選手氏名には必ずフリガナをつける。

- ②本種目は①30才以上、②40才以上、③50才以上、④60才以上、⑤70才以上、⑥80才以上の部の6クラス
- ③スポーツ連盟の都道府県卓球協会のある地域の方はその指定された申込方法で手続きをする。  
その他の方は、予選主管の卓球協会へ申し込む。
- ④在住学勤県の欄には在住、在学、在勤の県を記入する。
- ⑤加非の欄は加盟加盟都道府県を記入非加盟の場合は非と記入のこと
- ⑥段位を持っている選手は記入のこと

受付都道府県チェック欄	
No.	
金額	
受付日	
支払方法	現金・振替
受付者	

主管地チェック欄	
No.	
金額	
受付日	
支払方法	現金・振替
受付者	

第36回全国スポーツ祭典第62回全国卓球選手権大会  
スカイホール豊田 2026年12月18日(金)・19日(土)・20日(日)  
年代別個人戦申込書

都道府県名  男子 女子 ○で囲む

年齢区分(例:30L)

カットマンは氏名の前に○印を付ける

※下記区分表を参照

フリガナ		フリガナ		加・非
選手氏名		所属名		
生年月日(西暦) 年齢は2027年4月1日現在の満年齢		年	月	日生まれ
				年齢 才
携帯		FAX		
TEL				
住所	〒			
参加費加盟4,000円、非加盟6,000円				
都道府県予選の実績				予選大会
				位
3年以内のスポーツ連盟の全国大会実績		年	大会	位
		年	大会	位
その他の全国レベルの大会の実績 全日本、マスターズ、社会人等		年	大会	位
		年	大会	位
		段位(持っている選手)		段

**注意事項**

- ①申込書1枚につき、1名のみ記入する。
- ②選手氏名、所属名には必ずフリガナを記入する。
- ③戦績の欄は必ず記入する。特に初出場の方は「その他の全国大会」の実績を必ず記入する。
- ④スポーツ連盟の都道府県卓球協会のある地域の方は、その指定された申込み方法で手続きする。  
その他の方は、新日本スポーツ連盟全国卓球協会へ直接申込み。
- ⑤加非の欄は加盟(加)か非加盟(非)に○印をつける。加盟者は下段に登録都道府県名を記入してする。
- ⑥段位を持っている選手は記入のこと

個人戦エントリー年代区分表	受付都道府県チェック欄
① 男子・女子 30L : 30才～34才 (1992年4/2～1997年4/1生)	No.
② 男子・女子 30H : 35才～39才 (1987年4/2～1992年4/1生)	金額
③ 男子・女子 40L : 40才～44才 (1982年4/2～1987年4/1生)	受付日
④ 男子・女子 40H : 45才～49才 (1977年4/2～1982年4/1生)	支払方法 現金・振替
⑤ 男子・女子 50L : 50才～54才 (1972年4/2～1977年4/1生)	受付者
⑥ 男子・女子 50H : 55才～59才 (1967年4/2～1972年4/1生)	
⑦ 男子・女子 60L : 60才～64才 (1962年4/2～1967年4/1生)	主管地チェック欄
⑧ 男子・女子 60H : 65才～69才 (1957年4/2～1962年4/1生)	No.
⑨ 男子・女子 70L : 70才～74才 (1952年4/2～1957年4/1生)	金額
⑩ 男子・女子 70H : 75才～79才 (1947年4/2～1952年4/1生)	受付日
⑪ 男子・女子 80L : 80才～84才 (1942年4/2～1947年4/1生)	支払方法 現金・振替
⑫ 男子・女子 O85 : 85才以上 (1942年4/1以前生まれ)	受付者

備考欄 O85⇒オーバー85

# 第36回全国スポーツ祭典第62回全国卓球選手権大会規定

一般社団法人 新日本スポーツ連盟全国卓球協議会

「スポーツきみが主人公」の合言葉に、「フェアプレーの精神」でルールを遵守する中で競技力と人格を高め、全国の卓球愛好者の目標となる大会のさらなる発展のために以下定める。

## A. 全国大会の出場資格について

1. 前年大会の成績による推薦出場(推薦チームは前年大会の登録選手を半数以上登録すること)
  - 1) 一般団体 ベスト4
  - 2) 年代別団体 ベスト4
  - 3) 一般個人 ベスト8
  - 4) 年代別個人 ベスト4
2. 各都道府県予選会通過チーム及び個人
3. 各地域協議会が推薦したチーム及び個人
4. 団体戦については相互審判とすること、個人戦について予選リーグ内は選手間の相互審判、決勝トーナメントの第一試合はタイムテーブルで塗りつぶしがしてある勝ち上がりの選手が、それ以後は敗者審判とすることを了承したチーム及び選手。
5. シード権を得たチームは都道府県名表示ではなく全国推薦と表記する。

## B. 大会形式について(予選会・本大会共通事項)

1. 一般・年代別団体戦、一般・年代別個人戦共通事項
  - 1) 1ゲーム11本の5ゲームズマッチ(一般の部、年代別の部ともにダブルスは3ゲームズマッチ)の予選リーグ後、1位通過チーム及び選手による決勝トーナメント戦とする。
  - 2) ジュース:10-10になったときから双方が1本ずつサービスを行い、2点差をつけるか先に13ポイントを得た選手がそのゲームの勝者となる。
  - 3) 条件を満たせば一般大会と年代別大会の両方に参加できる。
2. 団体戦
  - 1) 一般の部
    - 1) ダブルス3シングルとする。(1番ダブルス2番シングルス3番シングルス4番シングルス)
    - 2) 2対2となった場合は最大6人の登録選手の中から代表選手を選びビクトリーマッチを1ゲームマッチで行い勝敗を決する。1番のダブルスに出場した選手は2番3番のシングルスに出場できない、シングルスに2度出場することはできない。4番のシングルスに出場した選手はビクトリーマッチに出場することはできない。1番のダブルスは3ゲームズマッチとする。ビクトリーマッチのオーダーはチームの対戦成績が2-1になった時点で速やかに提出する。
  - 2) 年代別の部
    - 1) ダブルス2シングルスとする(1番ダブルス2番シングルス3番シングルス)
    - 1番のダブルスに出場した選手は2番のシングルスに出場できない。
    - 1番のダブルスは3ゲームズマッチとする。
3. 個人戦
  - 1) 共通事項に準ずる。

## C. 予選会について

1. 共通事項
  - 1) 出場できる都道府県予選は各種目につき1ヶ所、1回とする。
2. 卓球協議会のある都道府県で開催される場合
  - 1) 団体戦
    - ① 加盟登録チーム、加盟員は登録した都道府県の予選に出場することを原則とする。
    - ② 加盟登録している選手はその都道府県協議会の予選会要項に従わなければならない。
    - ③ 非加盟員のみチームおよび、加盟員と非加盟員との混成チームは、当該都道府県に在住・在勤・在学の選手で半数以上のメンバーで構成され、その都道府県の予選に出場する。他の県の選手とチームを編成することが出来る。その場合、卓球協議会のある都道府県の選手とも編成できるが、他の県の選手がチームの半数以下であること。また、メンバーが所属する各都道府県の予選会要項のルールに反しないことを条件とする。  
特記 東京卓球協議会加盟員は他地域協議会の全国卓球選手権大会予選には一切出場できない。
    - ④ 団体戦の年代別に出場の場合は、その該当する年代のクラスに出場する。ただし、年代が混合する場合は最年少者の年代のクラスに出場しなければならない。
  - 2) 個人戦
    - ① 加盟登録者は登録した都道府県の予選に出場することを原則とする。
    - ② 非加盟者は在住・在勤・在学の都道府県に出場する。
3. 卓球協議会のない都道府県で開催される予選の場合
  - 1) 団体戦
    - ① 予選会を行う当該県に在住・在勤・在学の選手を半数以上とする。
    - ② 本大会と大会形式が異なる場合、選考基準を明確にしておく。

## 2) 個人戦

①本大会と大会形式が異なる場合、選考基準を明確にしておく。

4. 第61回全国卓球選手権大会の成績による推薦出場のチームのエントリー選手は各地域協議会第62回全国大会予選に参加することはできない。ただし一般の部の推薦選手が年齢条件を満たせば年代別に出場することはできる。また、年代別の推薦選手が条件を満たせば一般の部に出場することができる。

## D. 本大会について

### 1. 団体戦

#### 1) 共通事項

予選会に出場した選手は、本大会出場の他チームの追加登録選手になることはできない。

ただし、同一クラブで複数チーム参加の場合は除く。推薦チームの選手が予選を通過した同クラブのチームの追加選手になることはできない。

申込締切日以後のメンバー変更は特別な事情のない限り認めない。

加盟登録している選手はその都道府県協議会の加盟員登録規定に従わなければならない。

また、疑問点がある場合は必ず加盟登録している都道府県協議会に問い合わせること。

#### 2) 審判について

団体戦については相互審判とする。個人戦について予選リーグ内は選手間の相互審判、決勝トーナメントの第一試合はタイムテーブルで塗りつぶしがしてある勝ち上がりの選手が、それ以後は敗者審判とする。

#### 3) オーダーミスについて

予選リーグの場合

オーダー交換後間違いに気が付いた場合該当する対戦を0-3の敗戦としポイントは各ゲーム0-11のポイントとする。(ビクトリーマッチは0-1の0-11)

決勝トーナメントの場合

本部がオーダーミスに気が付いたときは訂正し提出しなおすことができる。試合開始後に気が付いた場合は該当対戦のみゲーム数0-3の敗戦としポイントは各ゲーム0-11のポイントとする。

(ビクトリーマッチは0-1の0-11)

対戦が終了し確認のサインがされた時点で対戦成績は確定する。

#### 4) 一般の部

予選会に出場した選手を半数以上必ず登録すること。

登録選手は6名までとする。ただし、他の都道府県の予選に出場した選手を追加することはできない。

#### 5) 年代別

予選会に出場した選手を半数以上必ず登録すること。

登録選手は5名までとする。また、他の都道府県の予選に出場した選手を追加することはできない。

### 2. 個人戦

卓球協議会のある県から参加する選手は、その地域で開催された予選会を通過すること。卓球協議会のない県から参加する選手は、その地域で開催された予選会を通過するか、予選会担当県の推薦を受けたその地域在住、在勤、在学の者でなければならない。

## E. 規定違反について

1. 大会前に違反が判明した場合、チーム及び選手は本大会に出場できない

2. 大会の予選リーグ中に判明の場合、予選リーグ中はオープン試合とし、決勝トーナメント中に判明した場合、その試合は中止する。大会終了後に判明した場合は、その成績を無効とする。

3. 大会終了後も含めて規定違反が判明した場合、登録チーム全員および個人は次大会には出場できない。

## F. ランキング及び次大会シード順について

1. ランキング及び次大会シード順は、当該大会役員で構成されたメンバーで決定する。

2. ランキングは全国大会での成績順とし、一般団体はベスト16・年代別団体はベスト8・一般個人戦はベスト16・年代別個人戦はベスト8までとする。

3. 上記2.を基本に次大会のシード順とする。第1～4シードは同一都道府県の対戦を考慮しない。第5～8シードは同一チームの対戦を配慮する。

第5～第16シードは同一都道府県の対戦を考慮する。不参加があった場合は、順位を繰り上げとする。

4. 年代変更によるシード順は、それぞれの前年年代シードを上位とする。

(例:Aで優勝し次大会Bに出場の場合、ランキングは2位となる。)

5. 過去の全国大会での成績は、前大会を考慮する。

6. 全国卓球協議会の推薦チーム及び選手のシード順等は上記1.で決定する。

## G. その他

1. 決勝トーナメントで棄権することのないようにすること。

2. 出場した選手は、エントリーしたチーム名の入ったゼッケンを着用すること。

3. 団体戦のユニフォームは揃えることが望ましいが、それを参加資格の条件とはしない。

4. ユニフォーム等の基準は日本卓球協会のルールに準ずるがそのマーク入りを参加資格とはしない。